

## 高規格堤防の事業スキームについて(案)

# 高規格堤防の事業スキームの見直しについて

## 経緯

【昭和62年 河川審議会答申】

- 大都市地域の大河川において、超過洪水等に対して破堤による壊滅的な被害を回避するため、当該大河川の特定の一連区間において、幅の広い高規格堤防の整備を進めるべき
- 高規格堤防の整備にあたっては、主要な整備区間が都市の一面を形成しており、多種多様な要請に対応した多機能の都市空間（うるおいと安らぎをもたらす貴重な空間、安全な避難場所としての防災空間の確保）としても期待できることにかんがみ、積極的に土地利用との調整に努めつつ、その整備を強力に推進すべき



高規格堤防整備例  
(荒川：小松川地区)

高規格堤防整備事業の創設(S62)

これまで

重点整備区間等において、沿川のまちづくり計画がある箇所について、まちづくり事業者と河川管理者が調整を図り共同事業者として実施

その結果、整備延長が約31kmで、累計事業費は約6,943億円(H22迄)

課題

- 社会的要請への対応  
(時間と費用がかかる)
- 優先順位の明確化
- 大震災を踏まえた対応

## 検討項目

○ 高規格堤防の整備区間をどうするか

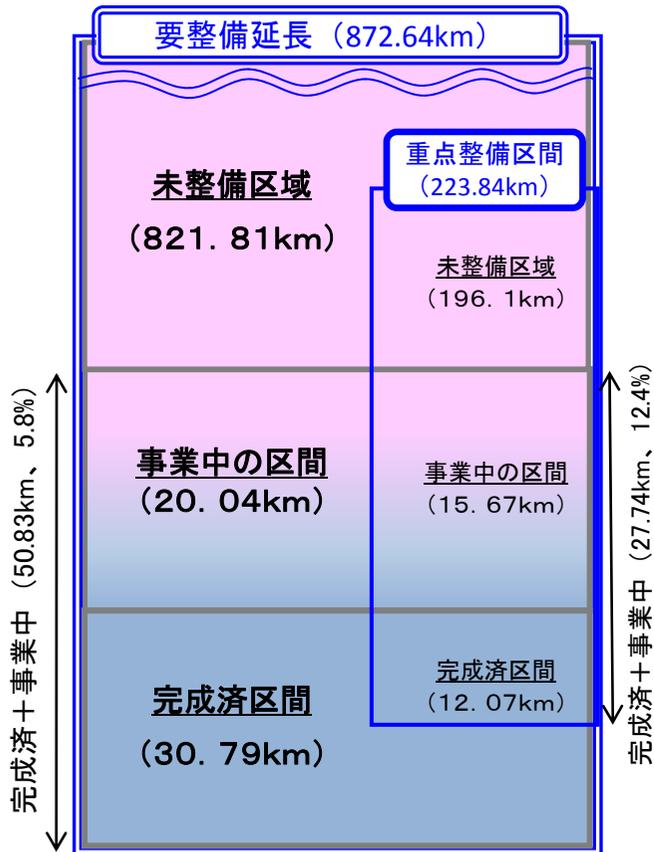
○ 整備手法をどうするか

○ 整備費用の縮減

事業スキームの見直し

# 高規格堤防の事業スキームの見直しイメージ（全体概要）

## 現状



※整備延長等は平成22年4月時点

## 考え方

1. 首都圏、近畿圏において、多くの人命と資産が失われることを回避し、我が国の社会経済活動への甚大な影響を回避する観点から、今後の整備区間を設定
2. 上記以外の区間では、一連区間で堤防強化対策を実施

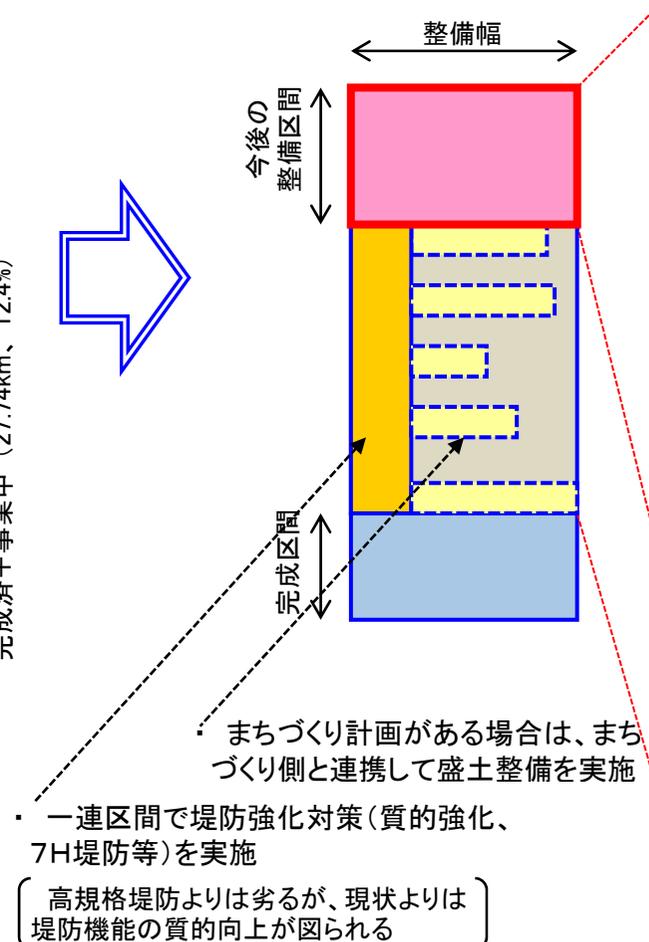
## 概要

### 【今後の整備区間】

- 以下のような区間において高規格堤防を整備
    - (1) 多くの人命が失われることを回避
      - ・ 江東デルタ地域等、東京・大阪のゼロメートル地帯を守る
      - ・ 湛水深の大きい密集市街地を守る
      - ・ 比高(堤防高～堤内地盤高)の大きい箇所付近に近接する密集市街地を守る
    - (2) 我が国の社会経済活動への甚大な影響、もしくは、多数の資産が失われることを回避
      - ・ 社会経済活動中枢機能の集中地区を守る
      - ・ 地下重要施設(地下街、地下鉄等)の集中地区を守る
      - ・ 浸水による被害が甚大な地域を守る
- ※ 上記区間において、まちづくりと積極的に連携して、まちづくりにインセンティブを与える手法等(裏法面の活用、二度移転なくて済む手法等)により、沿川のまちづくりと一体的に整備

### 【上記以外の区間】

- 一連区間で堤防強化対策(質的強化、7H堤防等)を実施
- 沿川にまちづくり計画がある場合は、まちづくりと連携して盛土整備を実施



# 高規格堤防の事業スキーム見直しの概念（考え方）の整理（案）

	整備区間	整備方法	整備費用の縮減	費用負担	備考
高規格堤防整備	首都圏・近畿圏の当該区間の堤防が決壊すると、氾濫水の破壊力や氾濫水による水没により、多くの人命と資産が失われるとともに、官庁、大企業本社、大規模商店等が集積する地域、地下鉄、地下街等が広く水没し、特に国家的な中枢機能と活動が麻痺し、我が国全体の社会経済活動に甚大な影響を及ぼす区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まちづくりと積極的に連携して整備</li> <li>○ まちづくりにインセンティブを与える手法等（裏法面の活用、二度移転しなくて済む手法等）により、沿川のまちづくりと一体的に整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地盤改良のあり方を検討し費用を縮減</li> <li>○ 二度移転しなくて済む手法（一度移転）の活用など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 費用分担のあり方の見直しを検討</li> <li>○ 地盤改良の費用負担のあり方は今後検討</li> </ul>	* 堤防構造等の技術的検討
高規格堤防を整備する区間以外の堤防整備	上記以外の区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一連区間で堤防強化対策（質的強化、7H堤防等）を実施</li> </ul> <p>（高規格堤防よりは劣るが、現状よりは堤防機能の質的向上が図られる）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 沿川にまちづくり計画がある場合には、まちづくりと連携して盛土整備を実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 堤防強化対策は基本的に治水事業として実施</li> <li>○ まちづくり計画がある場合の費用負担のあり方は今後検討</li> </ul>	* 堤防構造等の技術的検討

# 整備区間の考え方（案）

以下のような区間において高規格堤防を整備

○ 多くの人命が失われることを回避

- ① 江東デルタ地域等、東京・大阪のゼロメートル地帯を守る
- ② 湛水深の大きい密集市街地を守る
- ③ 比高(堤防高～堤内地盤高)の大きい箇所近接する密集市街地を守る

○ 我が国の社会経済活動への甚大な影響、もしくは、多数の資産が失われることを回避

- ④ 社会経済活動中核機能の集中地区を守る
- ⑤ 地下重要施設(地下街、地下鉄等)の集中地区を守る
- ⑥ 浸水による被害が甚大な地域を守る

首都圏・近畿圏の当該区間の堤防が決壊すると、氾濫水の破壊力や氾濫水による水没により、多くの人命と資産が失われるとともに、官庁、大企業本社、大規模商店等が集積する地域、地下鉄、地下街等が広く水没し、特に国家的な中核機能と活動が麻痺し、我が国全体の社会経済活動に甚大な影響を及ぼす区間

## 上記以外の区間

上記以外の区間においては、堤防強化対策(質的強化、7H堤防等)を実施。なお、まちづくり計画がある場合は、まちづくり側と連携して盛土整備を実施

【現行】



今後の高規格堤防整備区間を検討

# 整備方法の考え方（案）

## 今後の高規格堤防整備区間における整備

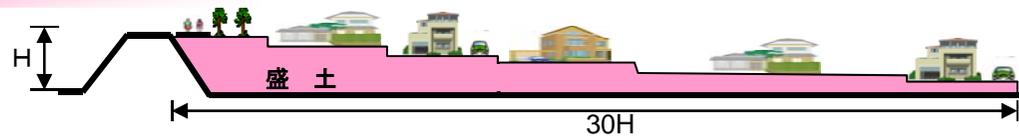
以下のような考え方で今後の高規格堤防を整備

- まちづくりと積極的に連携して整備
- まちづくりにインセンティブを与える手法等（裏法面の活用、二度移転しなくて済む手法等）により沿川のまちづくりと一体的に整備【別紙】

通常堤防 [対策前]



高規格堤防 [30H]



## 上記以外の区間における整備

以下のような考え方で堤防強化対策（+盛土整備）を実施

- 一連区間で堤防強化対策（質的強化、7H堤防等）を実施
- 沿川にまちづくり計画がある場合は、まちづくりと連携して盛土整備を実施

通常堤防 [対策前]



◇堤防強化 [表法面被覆]



◇堤防強化 [7H堤防]



◇堤防強化 (+盛土整備\*) ※まちづくり計画がある場合

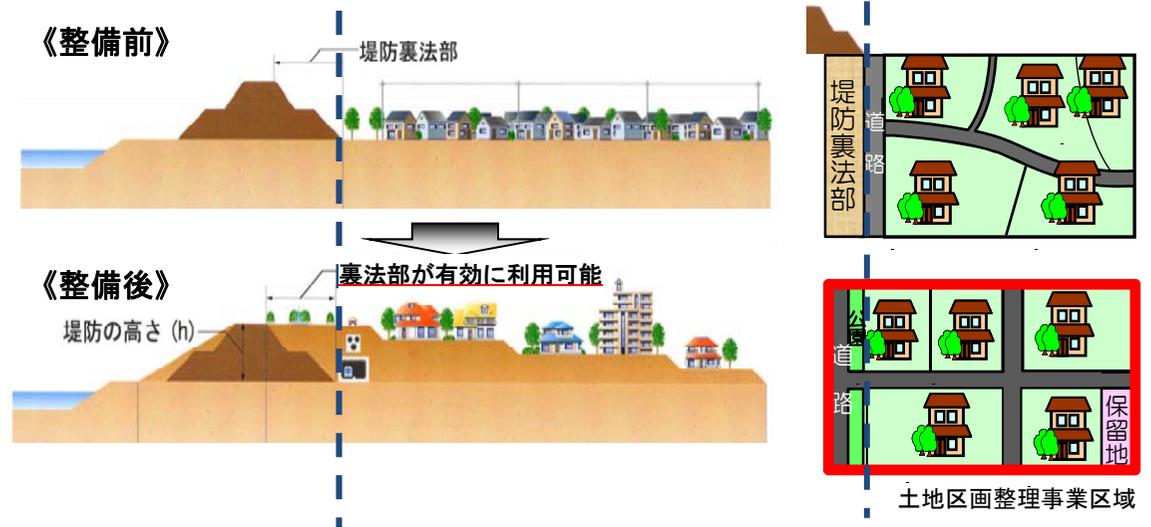


# 整備促進手法の考え方（案）

以下のような整備促進手法等で今後の高規格堤防を整備

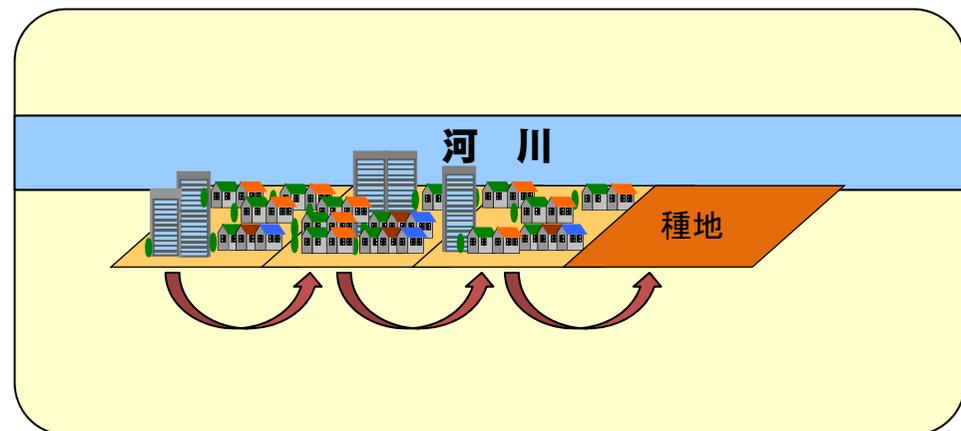
## ○堤防裏法部の活用

- ・ 堤防裏法部に土地区画整理事業により整備される公共用地(道路・公園)を集約することにより公共減歩を緩和し整備促進を図る



## ○二度移転しなくて済む手法の活用

- ・ 別に移転先用地(種地)を確保し、玉突きで移転(一度移転)することにより、二度移転による移転費用、仮住まい等の補償費用の削減を図る



# 整備費用の縮減の考え方（案）

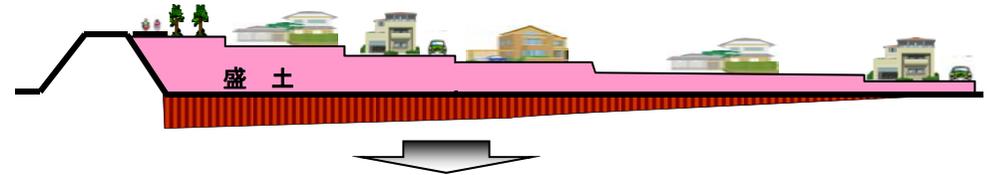
## 今後の高規格堤防整備区間における整備費用の縮減の考え方

以下のような考え方で高規格堤防を整備する費用を縮減

- 地盤改良のあり方を検討し費用を縮減
- 二度移転しなくて済む手法（一度移転）の活用【別紙】 など

### 地盤改良

【従来】



【見直し後】



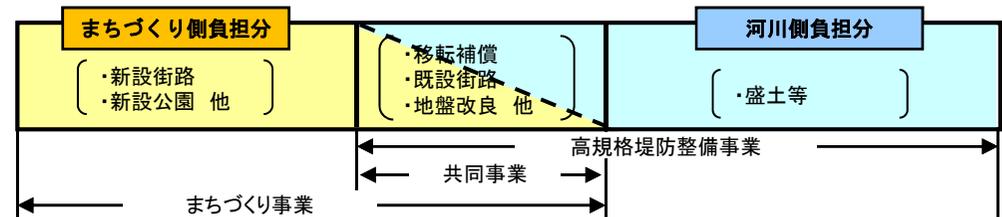
# 費用負担の考え方（案）

## 今後の高規格堤防整備区間における費用負担の考え方

以下のような考え方で高規格堤防を整備する費用を負担

- 費用負担のあり方の見直しを検討
- 地盤改良の費用負担のあり方は今後検討

### 費用負担



## 上記以外の区間における費用負担の考え方

以下のような考え方で堤防強化対策(+盛土整備)を実施する費用を負担

- 堤防強化対策は基本的に治水事業として実施
- まちづくり計画がある場合の費用負担のあり方は今後検討

### ◇堤防強化 [7H堤防]



### ◇堤防強化 (+盛土整備\*) ※まちづくり計画がある場合

